

キャンプファイヤーの実施について

- ファイヤー場について
 - 第2ファイヤー場、多目的広場のみ使用します。野外ステージは使用できません。
- ② プログラム調整について
 - 自然教室では同時間帯に2ヶ所のキャンプファイヤーしかできません。
 - 又、第1・第2キャンプファイヤー場の同日使用は不可とします。
- キャンプファイヤー場の使用時間と注意点
 - 説明時に職員が救急箱と新聞紙・木切れ・緊急用赤バケツ（濡れタオルセット）を持っています。着火方法の説明を受けた後、消火器の場所を確認し、ファイヤー材を組みます。
 - 【第1、第2ファイヤー場】
 - 終了時間 20:00 片づけ撤収 20:15
 - 【多目的広場】
 - 終了時間 20:30 片づけ撤収 20:45
 - 【自由広場】実施不可
- マイク、スピーカー、アンプ等の使用上の注意
 - 自然の家の機器のみ使用可 音量 10段階中「5」上限。
- 点火方法：新聞紙・木切れ・小割を使用。点火前にセンターハウスで灯油容器受け取り。
- ⑥ 消火方法： 専用のフードをかぶせ、ふたをして一晩鎮火する。水かけ禁止。
- ⑦ 終了後事務所に返却するもの：残りの新聞紙・灯油容器・タオル・赤バケツ・木切れ用バケツ・救急箱。
- ⑧ 翌朝の片付け：灰の処理は、灰を専用のバケツに入れてフタをしてから、灰捨て場にそのまま置いて下さい。
バケツ内に水は入れないで下さい。